

平成 25 年 月 日

甲府市長 宮島 雅展 様

要 望 書

甲府市保育所連合会

会長 矢巻 行祥

本題並びに甲府市保育所連合会の活動につきましては、平素より格別のご指導とご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

今、日本社会は少子高齢化や地域間格差（都市化・過疎化）また核家族化の進行、女性の社会参加の増加などの多くの問題を抱えています。国と国同士が開かれる中で、ますます国際社会の中での競争は激しくなり、子どもの育ちと子育てに様々な影響を及ぼしています。

現代までの日本を支えてきた子育てには、自然と周囲からの支えがあり、子育て中の親が人とのつながりを強く感じる事が出来ました。

しかし、競争社会の中で、時間的ゆとりをなくし、つながりが弱くなった地域社会は、子育てを支え合う力を失いつつあり、子どもにとって一番身近な親さえも社会に愛された確信を持つことが難しく、児童虐待・非行・引きこもりなどの社会問題が生まれ続け、今まさに支援を必要としています。

今回の要望では、現実から出発し「子どもが安心して生活できる環境（社会）」を理論的実践的に明らかにしていく出発点にしたいと考えています。

子ども一人一人が愛されたという心の土台を持ち、社会に希望と夢を持つことが出来るよう支え育てて行くことが私たち保育実践者の責務であります。

未来の甲府市を担う子どもたちが、大人たちに愛されたと感じられるよう本気で取り組む本会への積極的理解と支援を心よりお願い申し上げます。

以上